

おしどりミニだより



OMI CHIROBAKAI

社会福祉法人近江ちいろば会

地域密着型

デイケアの家おしどり

赤とんぼが舞い、萩の花が咲き始めました。

いよいよ秋本番ですね。

食欲の秋・運動の秋・読書の秋と様々な楽しみ方があるなかで、おしどりの皆様は声をそろえて、「食欲の秋!」と言われていきます。食べて笑って良い免疫をつけてコロナに負けない体づくりをと願っています。

2022年9月



サプライズ

この夏も暑い日が続き食欲がない方もいらっしゃると思います。

厨房担当の職員は暑い時もしっかりと食べて頂き、栄養をつけ、元気にこの夏を過ごして頂きたいと常々考え献立を作成しています。

ある日のおしどりの献立は、オムライス、野菜とベーコンのスープ、カボチャの煮物、スパゲティサラダでした。

「オムライス大好き!」と朝から皆さんは献立を見て喜んでおられました。そこでもっと喜んで下さる方法はないかと考え、思いついたのがオムライスの上にケチャップで名前を書くことでした。

しかし『子供じゃあるまいし』と怒られないだろうか?と、内心はドキドキしていました。緊張しつつ配膳をしていると、「私の名前が書いてある〜」「なんて粋な計らい?」

「オムライス崩すのもったいないから違う

ものから食べよう」等皆さんが喜んで下さいました。

皆さんが喜んで下さったことにサプライズを思いついた職員もホッとしました。

一日の振り返りの時間もご自身のノートに「今日はオムライスに名前が書いてあり嬉しかった」と書いておられました。

小さなサプライズですが、「今日、おしどりに行って楽しいことがあった」と感じて下さり、「明日もおしどりに行きたい」等、期待に繋がれば「元気でいたい」という気持ちになり、生きる希望が湧いてくるのではと思います。新型コロナ感染症で楽しみが減る日々ですが、皆様に喜んで頂けるサプライズを考えて毎日が笑顔で溢れるようにと願っています。



8月の生活リハビリ



おしどりでとれた野菜やご近所から頂いた野菜を皆さんでお料理しています。



生活リハビリをすることの意義とは…

自立・自律支援を目的として、今出来ること、したいことを支援し、行動にして頂くことを生活リハビリと考えています。ウォーキング・調理・音楽・手芸・習字 etc…一人一人の記憶・希望・夢に沿った活動を積極的に働きかけています。おしどりではこの生活リハビリを通して、「生きる力」を持っていただき「楽しめる人生」を過ごしていただきたいと思います。



台ふきを縫っています。沢山できれば、近くの保育園や学校に寄付しようと思います。



ランチョンマットのアイロンかけです。女性の仕事、男性の仕事の区別なく、出来ることにチャレンジです。

輪投げを楽しんでいます。手で投げることもむずかしい事ですが下肢筋力を鍛えようと足でチャレンジいたしました。大変難しい挑戦でしたがうまく入れる方もおられました。



食器拭きなど、無理のない範囲で出来ることを続けることで活動機会を増やし、又、ひとつひとつの指や腕の動作が機能の維持につながっています。

ボッチャもアレンジして様々な楽しみ方をしています。

